

トルコ ザクロの収穫がほぼ終了

FreshPlaza 2023年10月27日

トルコのザクロの収穫は終了に近づいている。トルコの果実輸出業者アナフルーツ社のオグジャン・エルドアン欧州営業部長によると、シーズンの始まりはかなり忙しかったという(以下「」は同部長の発言)。「ザクロの収穫は9月の最終週に始まり、今は終わりに近づいている。収穫後、ザクロを予備的に格付けし、MAバッグに保管した。シーズンの初めは需要が高く、かなり忙しかった。現在、収穫はほぼ完了し、貯蔵の期間が始まっている。収穫期には需要が高かったが、ここ数週間は落ち着いている。」

同部長は、今年もヨーロッパ大陸に主眼を置き、主要な輸出市場に変更はないと見ていると言う。「弊社のザクロの主な市場はヨーロッパで、出荷量の約80%がヨーロッパ向けである。弊社はEUが主要な輸出市場であると考えており、今シーズンも変わらない。とはいえ、同時に他の国でのシェア拡大も目指している。」

トルコは今年、猛暑に見舞われ、灌漑の問題が浮き彫りになり、生産にも影響が出た。「近年、地球温暖化と干ばつの増加が、農業灌漑全般に悪影響を及ぼしている。今年は、必要な灌漑を行えなかったことと暑さのために、果実のサイズが小さくなった。ザクロの開花期に大雨が降ったことから、着果率が低く、総出荷量のトン数は予想を下回った。」

ザクロの価格は昨年よりも高く、コストも大幅に上昇した。「今シーズンは、ザクロの価格が前シーズンの2倍になった。さらに、人件費、燃料費、梱包費の増大にも直面している。その結果、市場での価格は予想よりも高い水準で推移している。今シーズン、倉庫に保管されているザクロの量は、総じて前年よりも少ないと思う。例年のような需要があっても、今シーズンがうまくいくことを願っている。」

執筆者: ニック・ピーターズ

ポーランド リンゴの生産量減少で新市場への参入は先送り

FreshPlaza 2023年10月27日

ポーランド産リンゴの出荷が少し遅れて本格化した。ポーランドのリンゴ販売会社ジェネシス・フレッシュ社のマネージャーであるヤン・ノバコスキー氏は、ゴールデンデリシャスは昨年よりも緑がかっていると言う。最初のガラは予定通りに収穫され、輸出市場向けの長距離輸送に適した条件が整っている。レッドジョナプリンス、ジョナゴールド、リゴルなどの他の品種は、今シーズンは色付きが良くない。ゴールデンデリシャスは、好天に恵まれ黄色に赤みがさした前年に比べて、緑がかっている。

今シーズンはポーランドのリンゴの出荷量が少ないことから、同社の既存の取引先への供給を優先し、新たな機会を見つけ出すことは保留にしなければならないと同氏は説明する(以下「」は同氏の発言)。「全体として、今シーズンは出荷量が約30%減少するため、注意を払いながら既存の市場や取引先にリンゴを供給していく。来年は生産量が増えることを願うが、新しい機会の獲得はそれまで延期せざるを得ないだろう。南米が、ポーランド産リンゴの新たな注目市場である。わずか数年で、弊社のリンゴは中南米市場に浸透した。ポーランド産リンゴはこの地域で順調に売れており、その結果、需要は増加の一途をたどるだろう。」

同氏は、今シーズンは輸出用のリンゴと加工用のリンゴの両方で値段が高くなっていると述べた。「今シーズンのリンゴの価格は良い水準で始まった。すでに数週間前から、すべての品種で価格が上昇している。加工用リンゴも良いシーズンを迎えている。これらのリンゴの価格水準は依然として上昇しているため、今シーズンは軒並み高くなると予想される。」

現在、需要は旺盛で、この第4四半期には輸出が増加すると予想される。「今のところ、ガラの需要は良好である。アジアと南米の市場は、シーズンの初めから非常に好調に推移している。その理由は、ヨーロッパのほか、インドや中国など世界の他の地域でもリンゴが少ないことである。2023年第4四半期にはリンゴの輸出が増加する見込みだ。輸入需要が多いためにすでにコンテナが不足している。全体として、ポーランド産リンゴの今年のシーズンは、ヨーロッパ域内とアジアへの出荷が好調になるだろう。」

執筆者: ニック・ピーターズ